

【製造派遣のテクノ・サービス】
**フィリピン人社員が派遣スタッフを母国語でサポートする専門部署
 「グローバル・コーディネート・センター（GCC）」を開設**
**人手不足が深刻な製造業で外国人スタッフの定着を支援し、
 1年間で新たに100人の就業を目指す**

人材総合サービスの株式会社スタッフサービス・ホールディングスの100%子会社であり、製造派遣のテクノ・サービス（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：阪本 耕治、以下「当社」）は、2019年8月1日（木）より1都3県在住のフィリピン人[※]の求職者・派遣スタッフに特化した専属サポート部署「グローバル・コーディネート・センター（以下、GCC）」を当社本社内に立ち上げます。当社では2017年8月より、製造業における外国人派遣を全国で強化し現在778人（2019年6月末時点）の外国人派遣スタッフが働いています。現在でも全国6か所の事業所で外国人派遣スタッフの専属担当者を配置しサポートを行っていますが、昨年より1都3県在住のフィリピン人の派遣スタッフが増加したため、点在するフィリピン人派遣スタッフに対しよりきめ細かやで一貫したサポートを提供するため、専属の部署を設けることとなりました。

■ グローバル・コーディネート・センターの仕組み ■

フィリピン人専属担当者を新たに3人採用し、4人でサポート。
 英語・タガログ語・日本語を使いわけながら
 登録から就業までフィリピン人派遣スタッフをフォロー。

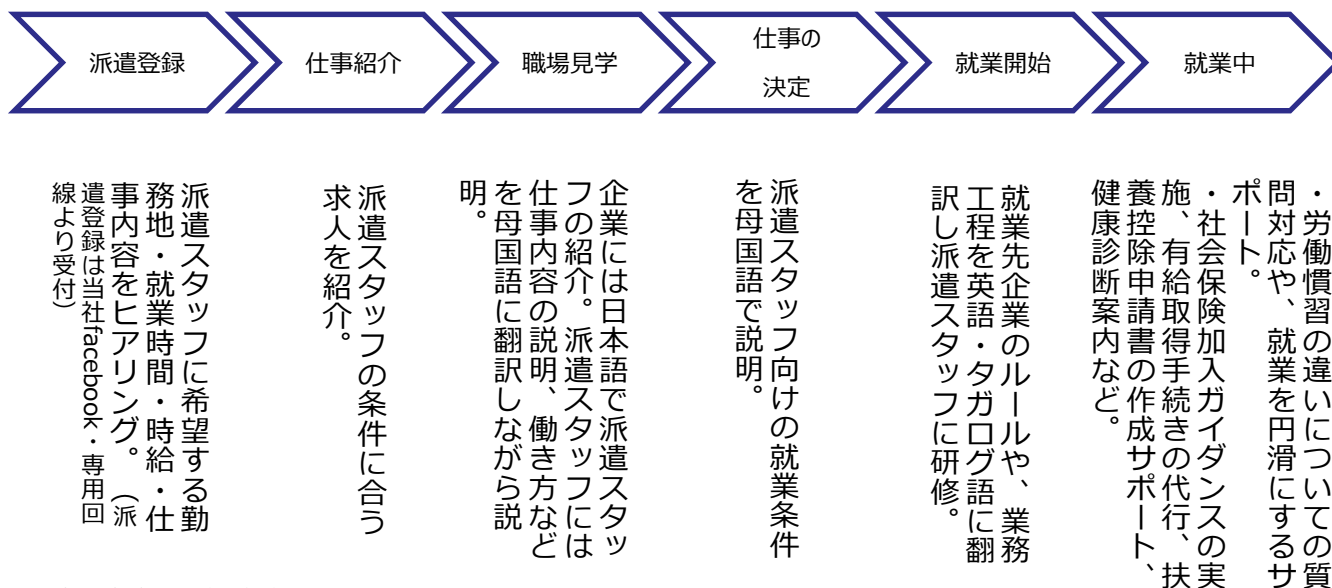
（※概要は4ページ）

フィリピン人専属担当者について

- 採用基準
 多言語でのコミュニケーションが可能、日本での就業経験があり日本文化や固有の労働慣習に理解が深い。
- 育成体制
 OJT

派遣スタッフの動き

GCCのサポート



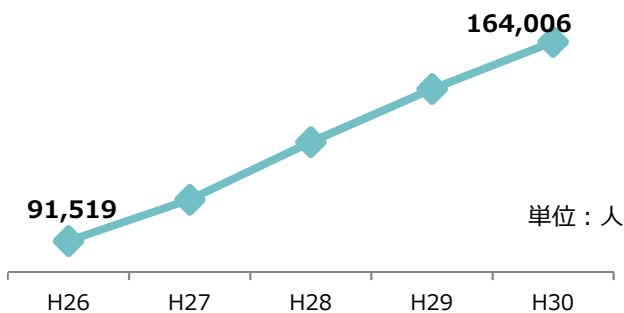
※在留資格は定住、永住、日本人配偶者のみ

■ 取り組む背景 ■

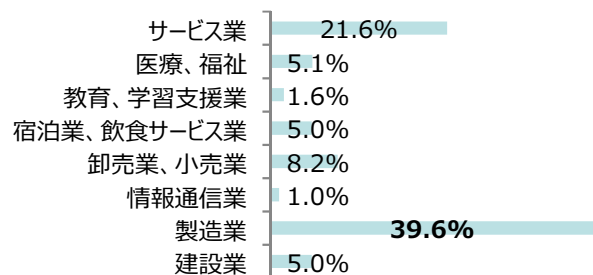
1. 首都圏におけるフィリピン人の就労人口が増加。5年前と比較し179%。

日本の平成30年度のフィリピン人就労者数は約16.4万人、平成26年と比較すると179%と拡大しています（図1）。さらにそのうち製造業で就労している比率は約39.6%（図2）と、産業別で最も高い水準を誇っています。製造現場における工場の自動化など、就業環境の改善に伴い特にフィリピン人女性の就労数が増加していることが背景の一つにあると考えられています。

<図1> 全国のフィリピン人就労数



<図2> 産業別フィリピン人労働者割合

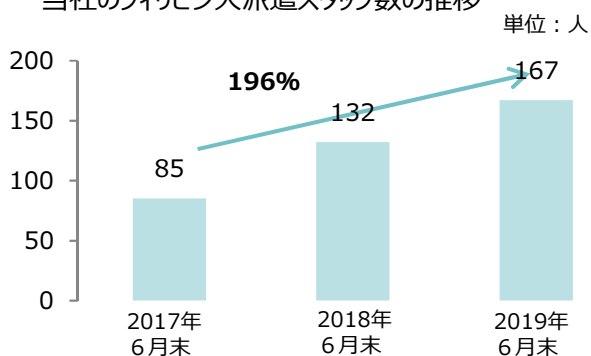


参考：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」（平成30年10月末現在）

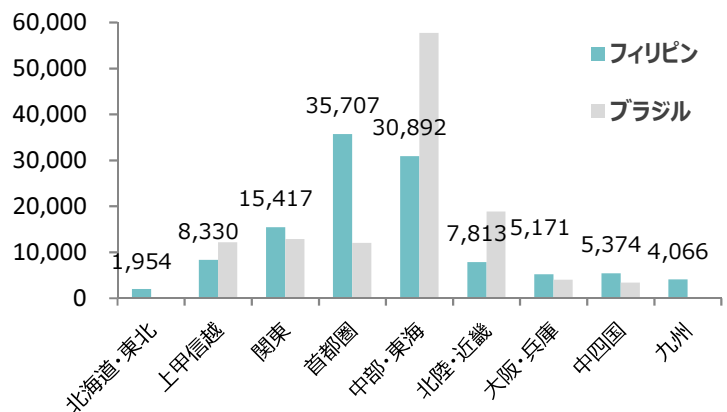
2. 当社の製造業で就業している外国人派遣スタッフのうち、4.5人に1人がフィリピン国籍。首都圏を中心に点在するフィリピン人派遣スタッフへの一貫したサポートが課題に。

当社では2年前と比較してフィリピン人派遣スタッフの就業数が約2倍になり（図3）、2017年8月より、全国6か所の事業所で外国人派遣スタッフの専属担当者を配置しています。フィリピン人の就労者は全国に分布し、首都圏で最も多く就労している（図4）といわれていますが、専属担当者が不在な事業所では言語や労働慣習の違いから、一人ひとりのニーズに応じた求人紹介や就業サポートが難しい状況にあります。そこで、1都3県で就業しているフィリピン人派遣スタッフのサポートをまとめて行う組織をつくることで、就業前から就業中のきめ細やかなサポートを実現します。

<図3> 当社のフィリピン人派遣スタッフ数の推移



<図4> 国籍別の就労分布図



参考：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」（平成30年10月末現在）

3. 外国人派遣スタッフの定着を支援するには、国籍に応じた丁寧なサポートが鍵。

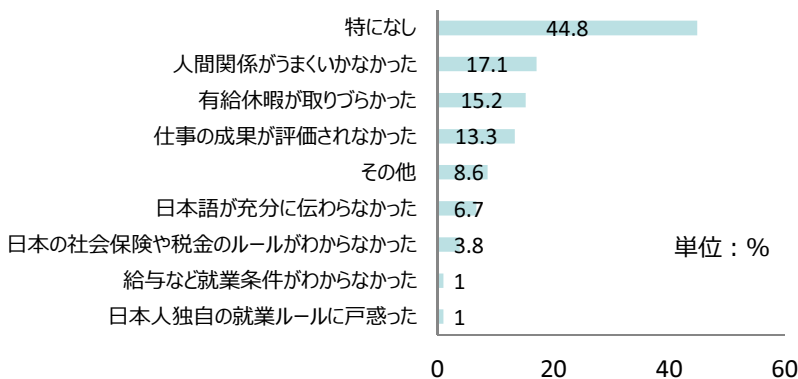
当社以外の日本の就業先で経験したネガティブな出来事トップは「人間関係」、続いて「有給休暇が取りづらい」など、コミュニケーション・労働慣習の違いが目立つ（図5）。

当社ではブラジル人をはじめとし、その地域の外国人コミュニティに根差して就業サポートを行っています。例えば、群馬県の太田事業所では、ブラジル人社員4人をブラジル人派遣スタッフの専属担当者として配置し、きめ細やかなサポートを行っています。外国人派遣スタッフにとっては同じ国出身の社員に就業中や労務関連書類で分からない点を母語で質問できる心強さと安心感、就業先企業にとっては業務フローや就業ルールを外国人派遣スタッフに的確に伝えるための言語・文化の“通訳家”となる存在がいることで、外国人派遣スタッフを活用しやすくなります。就業先企業、外国人派遣スタッフの間に専属担当者が立ち、相互へのサポートを行うことで、当社の約80%の外国人派遣スタッフが「現在の仕事」（図6）、「当社のサポート内容」（図7-1）に満足しています。

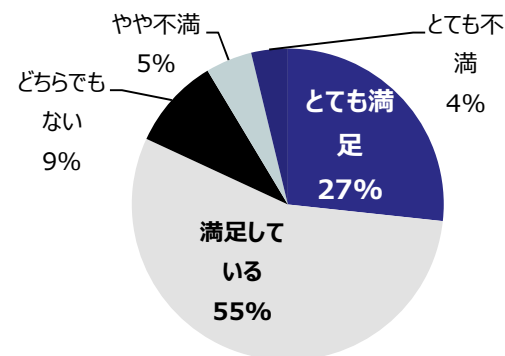


外国人派遣スタッフフォローを電話で行う様子

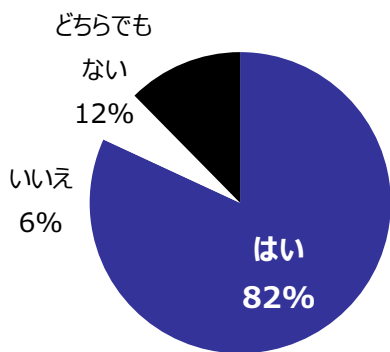
<図5> 当社以外の日本の就業先で経験したネガティブな出来事がありますか？



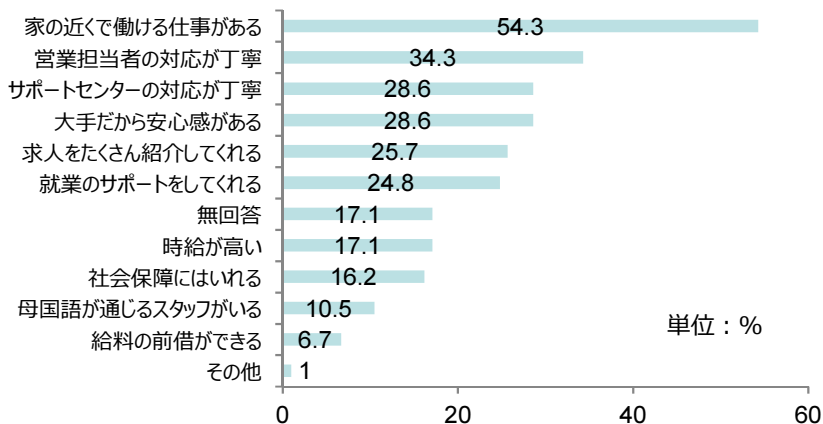
<図6> 現在の仕事に満足していますか？



<図7-1> テクノ・サービスのサポートに満足していますか？



<図7-2> 満足している理由は何ですか？



■今後の展開■

1都3県において1年後には100人のフィリピン人派遣スタッフの雇用創出と、多国籍対応を目指す。
 フィリピン人派遣スタッフのニーズと製造業の中小企業を中心とした採用ニーズをマッチングさせた、新たな就業事例を生み出していきます。またフィリピンだけでなく他国籍にも展開していきます。

テクノ・サービス グローバルマーケティング部 ゼネラル・マネージャー 伊藤薫 コメント

従来、外国人派遣スタッフにおいては、日系ブラジル人を中心に、集住地域である東海地方や北関東を中心に展開してきました。1都3県は就労したい人材も雇用したい企業も多く、その傾向は今後も続くと考えられています。この地域における外国人スタッフの多くはフィリピン国籍の人材です。フィリピンの方は日本在住歴が長い方が多く、日本語のコミュニケーション力が高く、業務の習得も早いといわれています。東海地方、北関東で一定の成果を得た外国人派遣スタッフ専属サポート社員のノウハウを活かし、企業側にとっては人材不足への対応、フィリピン人スタッフにとっては多様な働く機会の提供が実現できると考えています。

日本における外国人人材の活用は課題が多いのが現状です。外国人人材の活用を躊躇している企業に対しては、当社の実績やバックアップ体制を伝え人手不足が顕著な中で外国人人材を活用できるということを提案していきたいと考えています。



参考

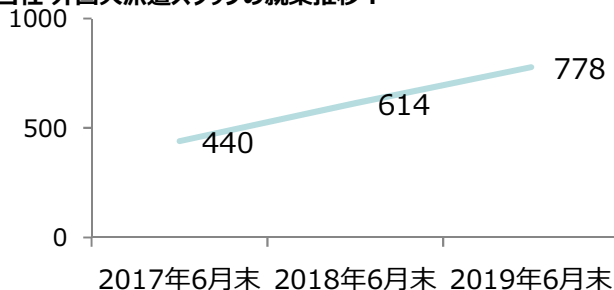
■株式会社テクノ・サービス（株式会社スタッフサービス・ホールディングス100%子会社）

本部：東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 東京西池袋ビルディング
 事業内容：人材派遣（製造業務）、紹介予定派遣、人材紹介、業務請負
 代表者：阪本耕治
 有効登録者数：498,259人
 取引先件数：8,422件
 就業者数：21,438人（うち、外国人778人（2019年6月末時点））

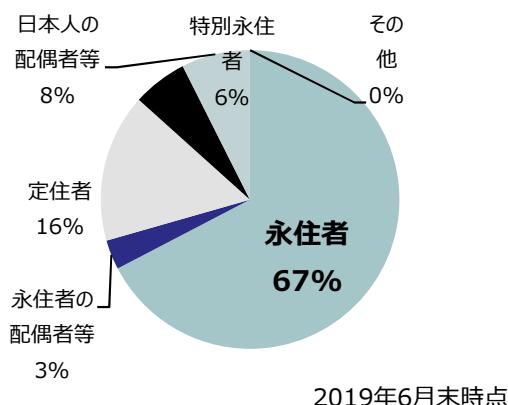
グローバル・コーディネイト・センターについて：

事業内容：フィリピン人をはじめとする派遣スタッフの登録、就業サポート業務全般
 住 所：東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 東京西池袋ビルディング
 電話番号：0120-803-762（お客様専用番号）
 所属人数：8人（うち、フィリピン人社員4人）
 設 立 日：2019年8月1日

■当社 外国人派遣スタッフの就業推移：



■当社 外国人派遣スタッフの在留資格（内訳）：



【報道関係者様 お問い合わせ先】
 株式会社スタッフサービス・ホールディングス 広報部 野崎
 TEL：03-5209-7177
 携帯：080-3355-7322
 メール：ssg-pr@staffservice.ne.jp